

症状のランク など意見交換

水俣病補償処理委

水俣病補償処理委員会（千種達夫座長）は十四日、東京・永田町の薬業健保会館で会合を開き、患者の症状のランクについて現地の症状諮問委員会が検討していた結果を笠松章委員（東大教授）から報告を聞き、意見を交換した。そのあと内田厚相が各委員に就任のあいさつをした。

同補償委員会は、この結果に基づいて①ランクをどのようにつけるか②ランクに補償金額でどの程度の差をつけるか—などについて検討する。次回は十六日に開く予定。